

ステレオカメラの両レンズ幅を当社従来比で1/2に縮小し、 スズキの軽乗用車「ハスラー」に納入

日立オートモティブシステムズ株式会社(取締役社長兼COO:関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)は、ステレオカメラの両レンズ幅を当社従来比で1/2に縮小し、スズキ株式会社(代表取締役会長:鈴木 修/以下、スズキ)より今月発売の「ハスラー(X、Xターボ、特別仕様車J STYLE II)」に納入します。

ステレオカメラは、クルマが障害物などを画像で感知する人間の「両目」の役割を果たす外界認識センサーで、複数の立体物の大きさ、位置、速度を瞬時に検出し、白線や黄線などの車線の差異までの確に検出することのできるセンサーです。

近年、交通事故の未然防止を目的に、衝突被害軽減ブレーキなど、より高度な安全運転支援システムの車両への搭載が増加しています。日立オートモティブシステムズは、このシステムのコア製品として、ステレオカメラを2008年から市場に投入しており、高い評価を得ています。さらに、軽自動車、小型車においても、安全運転支援システムの導入ニーズが高まっており、搭載可能なサイズのステレオカメラが求められていました。

今回納入するステレオカメラでは、画像認識処理技術を応用し、歩行者/車両衝突による被害の軽減や、LDW(車線検知)、ふらつき警報、先行車発進お知らせ、誤発進抑制などの安全運転支援機能をカメラのみのシステムで実現させることが可能です。このような安全運転支援機能と共に、カメラの両レンズ幅を当社従来比で1/2に縮小した軽自動車、小型車へのレイアウト性がスズキに評価され、「ハスラー」への採用にいたりました。

なお、今回納入が決定したこのステレオカメラは、2015年5月より発売されているスズキの軽乗用車「スペーシア」「スペーシア カスタム」および2015年8月より発売されている小型乗用車「ソリオ」「ソリオバンディット」にも採用されています。

日立オートモティブシステムズは、これからも、交通事故のない社会の実現に向け、より高度な自動車安全技術を追求し、「人・クルマ・社会」に新たな付加価値を持つ自動車機器システム・製品・サービスを提供していきます。



ステレオカメラが搭載された「ハスラー X」



両レンズ幅を1/2に縮小したステレオカメラ

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社: 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容: 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
